



味間小だより

丹波篠山市立味間小学校

令和3年9月27日発行



実りの秋です



「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」「文化芸術の秋」 秋はいろいろなことばで表現されます。気候も過ごしやすく、様々なことに集中して力いっぱい取り組み、実が熟すように成果を上げることができる季節ということでしょうか。

今子どもたちは運動会に向けて、体育の時間に普段の体育の学習で培った様々な身体能力をしっかりと発揮しようと工夫を凝らしながら活動している様子を感じられます。コロナ禍で限られた条件の中ではありますが、主体的に創造的に取り組んでいる様子をご覧いただければと思います。

また、日々の学習にも集中して取り組むことのできる季節です。普段の学習の中で興味あることに対してとことん追求するのもおもしろいと思います。小学生の時期はいろいろな学び方も身につける時期です。わからないことや疑問に思ったことを「人に聞く」「教科書で調べる」「自分のノートを見返す」「インターネットで調べる」「自分で実際に活動してみる」などいろいろな方法にチャレンジしてほしいと思います。家庭においては、子どもたちが興味を持っていることを是非引き出していただき一緒に楽しみながら学んでいただければ幸いです。

学校においては、新型コロナウイルス感染症予防のための対策をしながらの学習活動が続きます。ご家庭においても引き続き健康観察をお世話になりますがよろしくお願いします。

「いじめ」について ～学校・家庭・地域の連携で～

学校生活においては、子どもたち自らが「こんな学校生活を送りたい」と考え、みんなで協力しながら楽しい学校生活にしていくことが大切です。しかし、成長過程にある子どもたちが学校生活を送る上でいじめに該当する事象はどうしても起こるものです。いじめの定義は、「児童生徒が行う心理的又は物理的行為で、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」です。かつてのいじめの定義には、「弱いものに対して一方的に」「継続的に」「深刻な苦痛」の要素が含まれていましたが、今は含まれていません。

学校では、1回限りのいじめであっても積極的に見つけ、子どもたちの話をていねいに聴き取り、同じようないじめが起らないようしっかり見守り、今後の指導につなげていくことが大切と考えています。また普段から家庭や地域の方々と連携して、サインを発している子どもたちの様子について情報共有することも大切です。ご協力どうぞよろしくお願いします。

兵庫県産緑茶の提供について

この度兵庫県から、兵庫県産（丹波篠山市産）の茶葉を使用した紙パックのお茶の提供がありました。この事業は新型コロナウイルス感染症により需要が大きく落ち込んだ兵庫県産の茶葉を使用した緑茶を各学校に提供することにより、消費を拡大し、児童生徒にそのおいしさや魅力を伝えるとともに、生産者の経営安定を図ることを目的とされています。9月27日から10月1日の間に児童が1人4本持ち帰りますので、ご家庭でご賞味ください。